

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0490300092	事業の開始年月日	2020年12月16日	
		指定年月日	2020年12月16日	
法人名	有限会社 マミーホーム			
事業所名	グループホーム梅の宮マミー ユニット名：さくら			
所在地	(〒 985-0077) 宮城県塩釜市梅の宮16番11号			
サービス種別 及び定員等	認知症対応型共同生活介護	定員計	18名	
		ユニット数	2	
自己評価作成日	2023年2月15日	評価結果 市町村受理日		

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/
----------	---

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

当ホームは、海を一望できる高台にあり、指定避難所にも指定されています。ご入居者様には、暮らしてきた街並みや海を眺めながら生活することで、心穏やかに自分らしく過ごして頂けるように支援しています。ご入居者様の性格や生活状況を把握し、職員間で情報を共有することで統一したケアを心がけており、ご入居者様の生活がより良いものとなるようケアを行っています。ご入居者様には、ご自分でできることを継続して行って頂くことで役割を持ち、いつまでも活躍できるという生きがいを感じながら生活して頂けるように支援しています。敷地内の花壇・畑では野菜や花を育てており、水やりや草取りはご入居者様と一緒にしています。また、ホーム所有のバスに乗り、定期的にドライブや外食で気分転換を図ったり、レクリエーションや行事を開催したりと、毎日楽しみを持って活動的に過ごして頂けるように支援しています。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人介護・福祉サービス非営利団体ネットワークみやぎ		
所在地	宮城県仙台市青葉区柏木一丁目2番45号 フォレスト仙台5階		
訪問調査日	2024年3月6日	評価機関 評価決定日	

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

【事業所の理念】

〈法人の理念〉

- 皆様の尊厳および権利を尊重します
- 皆様を平等に対応します
- 自己の能力を磨きます

【事業所の概要】母体法人について・立地環境・建物の特徴等

母体法人は2002年に設立された「有限会社マミーホーム」である。松島町に3ヶ所の通所介護を運営し、協力体制を整えている。ホームは、住宅街の海の見える高台にある。建物内は、ふんだんに木を使用した斜め天井と腰壁、床にはタイルカーペットが敷き詰められた広々とした造りの2ユニットの平屋建てである。花を植えたり、家庭菜園できる花壇や庭がある。

【事業所の優れている点・工夫点】

ホームは、各ユニットの中央部に共通のリビングがあり、境となる扉を開けると広い空間をつくることができ、室内でもみんなで行事など楽しむことができる。この広いリビングからは海や街並みを望むことができ、入居者は住み慣れた場所を眺めながらゆったり過ごしている。管理者・職員は、理念をもとに入居者本位の共通意識をもち、知識・技術を習得して介護の質の向上に努めている。管理者は、積極的に地域と行政や同業者との関わりをつくり、職員の外部相談窓口を設置する他、資格取得支援など、働きやすい職場環境作りにも努めている。また、職員全員が身体拘束適正化対策検討委員会、虐待防止委員会のメンバーとなっており、定期的にケアについて検討し、情報共有している。同法人の松島にあるデイサービスに設けられた温泉で入浴、外食等、日常的に入居者が楽しめるよう毎月計画をたて、外出行事やホーム内での音楽会等を企画して楽しめるよう取り組んでいる。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 9
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	10
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	11 ~ 15
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	16 ~ 22
V サービスの成果に関する項目(アウトカム項目)	56 ~ 68	

事業所名	グループホーム梅の宮マミー
ユニット名	さくら

V.サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1. ほぼ全ての利用者の
			2. 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1. 毎日ある
			2. 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者の意思を出来る限り尊重し、外出等の支援をする努力をしている。 (参考項目：49)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、医療機関との連携や、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1. ほぼ全ての家族と
			2. 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：2, 20)	○	1. ほぼ毎日のように
			2. 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1. 大いに増えている
			2. 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、やりがいと責任を持って働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての家族等が
			2. 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価および外部評価結果（事業所名 グループホーム梅の宮マミー）「ユニット名:さくら」

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	管理者より職員に向けて、定期的に研修を行っており、マミーホームの理念を周知徹底しています。	管理者が講師となり年間計画を立て研修を実施している。職員には、法人のホームページに掲載している理念を閲覧するよう指導している。また、毎回、職員会議のレジュメに理念を記述し、職員への周知と共通意識を高めている。職員は、法人理念にある自己研鑽を意識し努めており、法人として積極的に資格取得を推奨し支援する等、ケアの質の向上に繋がるよう取り組んでいる。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会の広報や情報を参考にして、市民清掃や行事の参加等、出来る範囲で町内会の活動に参加しています。	町内会に加入し、町内清掃・夏祭り・防災訓練等の行事に参加している。感染症予防対策を講じながら、町内会向けに勉強会の場を提供し、サービス付き高齢者住宅の見学会等、可能な範囲で地域交流を続けている。今後、市のホールを貸し切り法人主催の音楽会開催を企画しており、地域からボランティアや団体が参加し、入居者も出演する計画で、家族を招待する予定である。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進委員会を開催し、ホームでの取り組みを報告することで、認知症の方の生活状況や対応方法を共有し、地域の方からの質問や疑問にお答えしています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進委員会を2カ月に1度開催し、ご入居者様の生活の様子や支援の内容を報告しています。その際、質疑応答での話し合いを行い、助言等頂いています。	年6回開催し、家族、町内会長、民生委員、市職員、地域包括職員が参加している。入居者の状況や行事、職員異動等を報告している。参加メンバーから情報提供があり、出された意見・提案等は都度検討している。運営推進会議の内容は、ホームの広報紙で詳しく報告し、入居者全家族へ手渡し又は郵送している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	塩釜市の担当の方とは必要時連絡を取っており、ご意見を頂いています。その他、定期的に運営推進委員会のお知らせを配布する際、対面でお話しする機会を設けています。	市職員が運営推進会議に出席しており、定期的に交流する機会がある。書面開催の場合には、対面で資料を手渡し助言や情報を得るなど、関係性が保たれるよう努めている。管理者は、入居者の状況や玄関の施錠についてなど、積極的に連絡し相談している。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束の資料をもとに職員研修を行っています。身体拘束の事例はありません。	職員全員が「身体拘束適正化のための対策を検討する委員会」のメンバーになっている。各ユニットでも情報を共有して話し合う機会を設け、個別ケースをもとに具体的に対応策などを検討している。入居者は玄関の鍵を自由に開けることもできるが、玄関にはセンサーを設置し、その都度状況に合わせて職員が対応している。外出傾向のある入居者は市のSOSネットワークへの登録を行い、関係機関の協力が得られるよう取り組んでいる。	
7	(6)	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止の資料をもとに職員研修を行っています。虐待の事例はありません。	虐待防止の研修を行い知識を深めている。チェックリストを用いて「見える化」し、職員の気づきや意見等を研修で共有し、検討している。24時間対応の「心のケア」（身体・生活の悩みを含む）と外部契約を行い、法人の部長や看護師等へも話せる環境をつくる等、職員の相談窓口を整え虐待防止に努めている。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護についての資料をもとに職員研修を行っています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居の際、契約事項と重要事項についてしっかり説明を行っています。不安や疑問点は、しっかり聞き取りを行い、丁寧に説明することで、安心して理解・同意を得られるよう対応しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	(7)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	定期的に広報誌を作成し、ホームでの活動や様子を写真や文章でお知らせしています。ご意見やご要望に対しては随時受け付けておりますが、サービス計画書更新の際に定期的に聞き取りを行っています。	運営推進会議開催のお知らせを家族全員へ配布し、意見や要望を聴く機会にしている。家族の意向や提案を踏まえて、医師を招き「看取りの勉強会」を実施した。家族が意見や要望を話しやすいように努めており、感染症に関することなど話を聞いている。今後も家族との交流が活発になるよう、参加しやすい行事など企画検討している。	
11	(8)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	管理者は、随時職員と面談する機会を設けています。毎月のユニット会議では、業務内容や支援内容についてスタッフ間で意見交換を行い、向上に努めています。	年3回、職員面談を行っている。職員からの意見や提案はユニット会議で検討し共有している。シフト調整、物入れの整備や家具の配置等、可能な限りすぐに対応するよう努めている。キャリアアップを奨励し、受講・受験費用を負担するなど、働きやすい職場環境作りに取り組んでいる。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員1人ひとりの個性や生活を大切にし、常に働きやすい環境づくりを目指しています。給与体系、スキルアップ、評価基準は、職員はマミーホームホームページ内にていつでも閲覧できます。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	スキルアップとして、毎月勉強会や研修を行っています。研修の情報は随時提供しており、外部研修への費用負担は積極的に支援しています。		
14	(9)	○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	グループホーム協議会の研修や、包括支援地区の集会を通して、同業者と交流する機会があります。また、同法人のデイサービス職員と交流する機会を設け、親睦を深めながら情報交換を行っています。	宮城県認知症グループホーム協議会に加入している。管理者は情報交流をとおり、運営における課題など改善に活かせるように努めている。市内の他法人のグループホームと、地域づくりや外国人労働者に関する意見交換、各事業所のアピール活動を行う等、連携し交流を深めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	新規入居される際、これまでの生活の様子と今後の要望を聞き取り、環境が変わってもなるべく自分らしい生活を送って頂けるように、ご本人の意思を尊重しながら寄り添い、一緒に考えて決定しています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居される際に、不安や心配な事はあらかじめ聞き取りを行っており、安心して利用できるように対応しています。支援内容の変更や生活状況に変化が見られた際は、その都度ご家族様へ報告し、定期的に情報を共有できるように努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご入居者様が必要とされるサービスを随時検討・提案し、ご本人とご家族と一緒に検討しています。デイサービス、訪問マッサージ、訪問診療等利用しています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員は、ご入居者様と家族のような信頼関係の構築に努めています。毎日一緒に生活することによって、その方らしい生活に寄り添いながら対応しています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様からの連絡や面会の際、一緒に話し合う機会を設け、ご本人の思いや気持ちを共に伝え、ご家族様とのつながりを大切にしています。		
20	(10)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みのある関係を継続していけるように支援しています。自宅への外出や外泊、近隣周辺のドライブ、買い物支援等、ご本人の希望に添えるようご家族と協力しながら対応しています。	家族との外出や外泊ができるよう支援している。入居前に利用していた馴染みのスーパーに買い物に行く、庭の手入れや家事の手伝いなど、これまでの生活経験を日常に活かせるよう対応している。入居前に利用していたデイサービスの知人やボランティア団体との関係も継続できるように努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ホームでの日常生活を送る中で、お互いができることを活かし家事や掃除を一緒に行うことや、レクリエーションでいるんな方と交流し関わり合うことで、お互いが支え合える関係づくりに努めています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	医療的な処置が必要となり退居となった方のご家族様とは必要時連絡を取り合い、相談を受けたり、お話を伺う等の支援をしています。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(11)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の生活の中でご利用者様の要望を把握し、職員同士で情報を共有して対応しています。ご入居者様とご家族様に定期的に面談や聞き取りを行い、ケアプランを作成しています。	食べたい物、ドライブに行きたい所などを選択できるように提案し、入居者の意向を聴き応えている。言語表現が困難な場合には、生活歴や以前から生活習慣から思いを想定し、表情や行動から入居者の思いをくみ取っている。歩行が不安定でリスクのある入居者については、職員間で対応策を検討し情報共有しながら、家族に説明を行い、その人らしさを損なわないよう対応している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご入居者様とご家族様へ生活状況の聞き取りを行った内容をフェイスシートに反映させています。担当ケアマネジャーより入居前の情報をアセスメントすることで、生活歴の把握に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ご入居者様の生活の様子や変化を観察したものを介護記録に残しています。職員が記録を見ることで情報共有し、ご入居者様の様子を把握できるように努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	(12)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	月1回のユニット会議で、ご入居者様の生活の状況やサービス内容の実施状況を話し合い、定期的に検討しています。ご本人やご家族の意向を踏まえてケアプランを作成しています。	月1回は家族と連絡して意向を確認している。介護記録・受診ノート記録や入居者・家族の意向をもとに、ユニット会議で話し合っている。生活リハビリや歯科訪問など、医師や看護師等の専門職の意見も取り入れた介護計画の作成に努めている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ご入居者様の日々の様子を毎日記録しており、引継ぎの際には申し送りを行い、情報を共有しています。毎月のユニット会議では、検討内容があれば話し合いを行い、必要時対応の見直しを図っています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人やご家族様が、従来の対応が困難な場合は、状況に応じて職員が対応しています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	市役所や町内の広報誌より情報を把握しています。ご入居者様が安全で豊かな暮らしを楽しめるように支援しています。		
30	(13)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご入居者様の健康状態を観察し、受診時にご家族様と主治医と情報を共有しています。かかりつけ医を変更することなく通院することができますが、希望があれば往診クリニックへ変更し24時間体制で医療を受けられることもできます。	協力医の訪問診療や往診医の訪問があり、皮膚科や歯科もホームで受診できる等、医療体制が整っている。入居前からのかかりつけ医への受診は、家族の付き添いを基本としているが、緊急時や家族が遠方にいる場合は、職員が同行している。非常勤の看護職員がおり、日頃の健康状態を把握して、通院時には医療機関と情報共有している。家族と相談し、医師の指示のもとに個別に契約し24時間医療連携体制を受けられることができる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週1回、看護師がご入居者様の健康観察を行い、ケアを行っています。体調に変化があった場合は、看護師と連絡を取りサポートしています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入退院時には、医療関係者と連絡を取り合い、適切な情報を共有し合うことで、関係づくりに努めています。		
33	(14)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	終末期や病状管理が必要になった場合、しっかりと説明を行い、話し合いを重ねることで、今後の対応方針を共有しています。医療関係者と連携を図りながら、最期まで支援させていただきます。	看取りの指針があり、入居時に説明を行っている。入居者が重度化した場合、状態を医師が判断し家族へ説明を行い、入居者・家族の意向を確認している。看取り時は、家族と医療機関との契約により24時間医療体制を整えて支援している。看取りの研修を毎年実施し、マニュアルも確認している。看取り経験のある職員がおり、職員間で情報共有し連携している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時や事故発生時の対応は、定期的に研修を行い、適切な対応ができるよう取り組んでいます。		
35	(15)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回災害時訓練を実施しています。マニュアルに従い訓練することで、安全対策を身に付けています。当施設は避難場所にも指定されています。	毎年、感染症マニュアルに沿って消毒・処理等を確認しており、対応策を研修している。火災・地震・風水害等のマニュアルを整備し、年2回、避難訓練や設備点検を実施している。夜間想定避難訓練は実施していないが、管理者は、夜勤専門担当者とマニュアルや手順等を一緒に確認している。市の防災訓練には、職員や入居者も参加しており、ホームは地域の福祉避難所になっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(16)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員は、ご入居者様1人ひとりの人格や意思を尊重し、プライバシーに配慮した対応・介助を心がけています。	毎年、『プライバシーが守られる権利』『話を聞く権利』『財産を守る権利』『平等に接することの大切さ』等の研修を行い、入居者の意思を尊重したケアを意識して取り組んでいる。入浴や着替え、排泄ケアについて、同性介助の希望を確認している。居室に入る際はノックして確認し、プライバシーに配慮した対応を行っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご入居者様に定期的にアンケートをとったり、行事や外出の希望を聞いてご本人に選んでもらったりと、希望に添った生活となるよう支援しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご入居者様の生活に合わせた起床時間や食事時間等、出来る限り希望に添えるように支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	2ヶ月毎に訪問理美容に来て頂き、カット・カラー等を利用しています。衣替えの時期など、衣類の確認も行っています。		
40	(17)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	ご入居者様に食べたいものを聞き取り、時折ランチ外食やおやつ外食を行っています。調理が得意な方にはおやつ作りを手伝ってもらったり、食器洗いを手伝ってもらったりと協力しながら行っています。	専門業者による献立で調理済みの食事が届いている。行事食は、通常の献立に追加注文しホームで準備している。クリスマスにはバイキング方式による食事を取り入れた。入居者の要望を聞いて、外食やおやつを食べに行くなどの機会も随時企画している。また、料理好きの入居者と一緒におやつを手作りするなど、一緒に楽しめる工夫もしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	ご入居者様の希望や病状に合わせた食事を提供しています。摂取量は毎食記録しており、変化が見られた際は早期に対応できるように管理しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	ご入居者様の状態に合わせた口腔ケアを行っています。準備や介助が必要な方には、声掛けや見守り等できるところまで行って頂き、口腔内を清潔に保てるように支援しています。		
43	(18)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を活用し、ご本人の排泄パターンを把握し、その方に適した排泄対応ができるように支援しています。トイレでの排泄を継続するために、定期的な排泄対応の見直しを行っています。	排泄パターンを把握し、トイレでの排泄ができるよう自立に向けて支援している。リハビリパンツやパットのサイズを変更するなど、入居者の状態に合わせ支援している。便秘対策には軽体操や食事（ヨーグルト・納豆・ゼリー・水分等）を摂取することで、自然排便を促すよう取り組んでいる。排泄リズムを整え、夜間睡眠の妨げにならないよう配慮した排泄支援に努めている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘予防のため、ご入居者様には水分摂取の促し、ヨーグルトの提供、毎日の運動を行っています。排便管理が必要な方には、個別に排便日数の確認、下剤の調整、頓服薬の調整を行っています。		
45	(19)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴は、ご本人の希望に添った入浴ができるよう支援しています。必要に応じて時間や曜日を変更したり、デイサービスの温泉外出を楽しまれたりと工夫して対応しています。	週2回の入浴を基本とし、入居者から希望を聞き、同性介助にも対応している。入浴日は、入居者の状態や希望により変更することもある。機械浴も設けられ、ジャグジーも楽しむことができる。入居者の好きな湯温で、心地よく安全に入浴できるよう対応している。定期的に、同法人のデイサービスにある温泉に出かけ楽しんでいる。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ご入居者様が安心して入眠できるよう、暗さや室温調整等の環境を整えながら就寝介助を行っています。日中、長時間離床が難しい方にはこまめに臥床する時間を設けて、生活習慣に合わせた支援をしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬介助は必ず1人ずつ行い、処方通りに与薬しています。処方が変更になった場合や病状に変化があった場合は、専属の薬剤師とご入居者様のお薬情報について共有し、必要時相談や助言を頂きながら連携を図っています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ご入居者様が、これまでの生活の中で趣味・嗜好を楽しまれてきたように、ホーム内でも出来る限り楽しみを続けられるように支援しています。畑づくりや家事・掃除等、得意なことを活かせる機会を設けています。		
49	(20)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気の良い日は、毎週ドライブや散歩を実施しています。その他、外食や遠足等のお出かけは定期的実施しており、皆様楽しみにされています。買い物や外泊等は、ご家族様に協力して頂きながら、ご希望に添えるように実施しています。敷地内には花壇と畑があり、ご入居者様と一緒に育てています。	入居者の意向を聴き、行事として毎月、外出計画をたてている。入居者の状態を確認し、天候をみながらドライブや外食などに出かけている。日常的には近所や庭を散策したり、食べたいおやつを買いに出かけている。今後は、バスを貸し切って家族と一緒に遠足など企画検討中である。入居者が好きな場所やタイミングで参加できるように支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	預かり金の管理は職員が行っていますが、ご本人より希望があればいつでも使うことができます。ドライブや外出の際、アイスやジュースをご自分で購入したり、日用品を買い出しに行ったりと、ご自身で好きなものを買う楽しみを持てるように支援しています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご入居者様より希望があった場合には、職員が仲介をしていつでもご家族様に連絡をとることができます。携帯電話を持っている方は、ご自分でご家族様と連絡を取り合っているようです。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	(21)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有スペースは、毎日職員とご入居者様が一緒に清掃・消毒を行っており、清潔を保って快適に過ごせるように環境づくりを行っています。	大きな梁のある天井や木を使用した腰壁、タイルカーペットの床のフロアで、斜め天井の造りは音響が良い。また、斜め天井の一部は窓になっており、日差しが入り明るい。各ユニットの中央部にリビングがあり、仕切りを外すと広いフロアになる仕組みで、毎月、音楽会を開催して楽しんでいる。ソファやテレビ等、入居者が過ごしやすいうように職員が話し合って配置をしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有スペースは、ご入居者様が居心地良く過ごせるように配置を工夫しています。静かに過ごしたい方のテーブル席や、ソファでくつろぎながらテレビを見たい方など、皆様が自由に過ごせる環境づくりを行っています。		
54	(22)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご自分の居室で安心してくつろげるように、ご本人とご家族と相談しながら、必要な家具や配置等を決めていきます。入居される前に使用していた家具や日用品、お気に入りの人形等、持参される方もいらっしゃいます。	各居室には、ベッドとエアコンが設置され、床はタイルカーペットが敷かれている。衣類ダンス、椅子、テーブル等は自由に持ち込め、入居者は馴染みの物を使っている。壁には、写真や飾りなどがあり、入居者の希望を聴き、動線に配慮して家具などを配置している。寝具類は、クリーニング業者に依頼して週1回交換している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ご入居者様が、出来る限り自分らしく自立した生活を送ることができるよう、建物内の安全対策、案内の貼り紙、移動時動線の確保等、工夫した対応を行っています。		

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0490300092	事業の開始年月日	2020年12月16日	
		指定年月日	2020年12月16日	
法人名	有限会社 マミーホーム			
事業所名	グループホーム梅の宮マミー ユニット名：ひまわり			
所在地	(〒 985-0077) 宮城県塩釜市梅の宮16番11号			
サービス種別 及び定員等	認知症対応型共同生活介護	定員計	18名	
		ユニット数	2	
自己評価作成日	2023年2月15日	評価結果 市町村受理日		

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/
----------	---

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

当ホームは、海を一望できる高台にあり、指定避難所にも指定されています。ご入居者様には、暮らしてきた街並みや海を眺めながら生活をする中で、心穏やかに自分らしく過ごして頂けるように支援しています。ご入居者様の性格や生活状況を把握し、職員間で情報を共有することで統一したケアを心がけており、ご入居者様の生活がより良いものとなるようケアを行っています。ご入居者様には、ご自分でできることを継続して行って頂くことで役割を持ち、いつまでも活躍できるという生きがいを感じながら生活して頂けるように支援しています。敷地内の花壇・畑では野菜や花を育てており、水やりや草取りはご入居者様と一緒にしています。また、ホーム所有のバスに乗り、定期的にドライブや外食で気分転換を図ったり、レクリエーションや行事を開催したりと、毎日楽しみを持って活動的に過ごして頂けるように支援しています。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人介護・福祉サービス非営利団体ネットワークみやぎ		
所在地	宮城県仙台市青葉区柏木一丁目2番45号 フォレスト仙台5階		
訪問調査日	2024年3月6日	評価機関 評価決定日	

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

【事業所の理念】

〈法人の理念〉

1. 皆様の尊厳および権利を尊重します
2. 皆様を平等に対応します
3. 自己の能力を磨きます

【事業所の概要】母体法人について・立地環境・建物の特徴等

母体法人は2002年に設立された「有限会社マミーホーム」である。松島町に3ヶ所の通所介護を運営し、協力体制を整えている。ホームは、住宅街の海に見える高台にある。建物内は、ふんだんに木を使用した斜め天井と腰壁、床にはタイルカーペットが敷き詰められた広々とした造りの2ユニットの平屋建てである。花を植えたり、家庭菜園できる花壇や庭がある。

【事業所の優れている点・工夫点】

ホームは、各ユニットの中央部に共通のリビングがあり、境となる扉を開けると広い空間をつくることができ、室内でもみんなで行事など楽しむことができる。この広いリビングからは海や街並みを望むことができ、入居者は住み慣れた場所を眺めながらゆったり過ごしている。管理者・職員は、理念をもとに入居者本位の共通意識をもち、知識・技術を習得して介護の質の向上に努めている。管理者は、積極的に地域と行政や同業者との関わりをつくり、職員の外部相談窓口を設置する他、資格取得支援など、働きやすい職場環境作りにも努めている。また、職員全員が身体拘束適正化対策検討委員会、虐待防止委員会のメンバーとなっており、定期的にケアについて検討し、情報共有している。同法人の松島にあるデイサービスに設けられた温泉で入浴、外食等、日常的に入居者が楽しめるよう毎月計画をたて、外出行事やホーム内での音楽会等を企画して楽しめるよう取り組んでいる。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1～14	1～9
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15～22	10
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23～35	11～15
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36～55	16～22
V サービスの成果に関する項目(アウトカム項目)	56～68	

事業所名	グループホーム梅の宮マミー
ユニット名	ひまわり

V.サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1. ほぼ全ての利用者の
			2. 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1. 毎日ある
			2. 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者の意思を出来る限り尊重し、外出等の支援をする努力をしている。 (参考項目：49)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、医療機関との連携や、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1. ほぼ全ての家族と
			2. 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：2, 20)		1. ほぼ毎日のように
			2. 数日に1回程度ある
			3. たまに
		○	4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1. 大いに増えている
		○	2. 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、やりがいと責任を持って働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての家族等が
			2. 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価および外部評価結果（事業所名 グループホーム梅の宮マミー）「ユニット名：ひまわり」

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	管理者より職員に向けて、定期的に研修を行っており、マミーホームの理念を周知徹底しています。	管理者が講師となり年間計画を立て研修を実施している。職員には、法人のホームページに掲載している理念を閲覧するよう指導している。また、毎回、職員会議のレジュメに理念を記述し、職員への周知と共通意識を高めている。職員は、法人理念にある自己研鑽を意識し努めており、法人として積極的に資格取得を推奨し支援する等、ケアの質の向上に繋がるよう取り組んでいる。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会の広報や情報を参考にして、市民清掃や行事の参加等、出来る範囲で町内会の活動に参加しています。	町内会に加入し、町内清掃・夏祭り・防災訓練等の行事に参加している。感染症予防対策を講じながら、町内会向けに勉強会の場を提供し、サービス付き高齢者住宅の見学会等、可能な範囲で地域交流を続けている。今後、市のホールを貸し切り法人主催の音楽会開催を企画しており、地域からボランティアや団体が参加し、入居者も出演する計画で、家族を招待する予定である。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進委員会を開催し、ホームでの取り組みを報告することで、認知症の方の生活状況や対応方法を共有し、地域の方からの質問や疑問にお答えしています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進委員会を2カ月に1度開催し、ご入居者様の生活の様子や支援の内容を報告しています。その際、質疑応答での話し合いを行い、助言等頂いています。	年6回開催し、家族、町内会長、民生委員、市職員、地域包括職員が参加している。入居者の状況や行事、職員異動等を報告している。参加メンバーから情報提供があり、出された意見・提案等は都度検討している。運営推進会議の内容は、ホームの広報紙で詳しく報告し、入居者全家族へ手渡し又は郵送している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	塩釜市の担当の方とは必要時連絡を取っており、ご意見を頂いています。その他、定期的に運営推進委員会のお知らせを配布する際、対面でお話しする機会を設けています。	市職員が運営推進会議に出席しており、定期的に交流する機会がある。書面開催の場合には、対面で資料を手渡し助言や情報を得るなど、関係性が保たれるよう努めている。管理者は、入居者の状況や玄関の施錠についてなど、積極的に連絡し相談している。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束の資料をもとに職員研修を行っています。身体拘束の事例はありません。	職員全員が「身体拘束適正化のための対策を検討する委員会」のメンバーになっている。各ユニットでも情報を共有して話し合う機会を設け、個別ケースをもとに具体的に対応策などを検討している。入居者は玄関の鍵を自由に開けることもできるが、玄関にはセンサーを設置し、その都度状況に合わせて職員が対応している。外出傾向のある入居者は市のSOSネットワークへの登録を行い、関係機関の協力が得られるよう取り組んでいる。	
7	(6)	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止の資料をもとに職員研修を行っています。虐待の事例はありません。	虐待防止の研修を行い知識を深めている。チェックリストを用いて「見える化」し、職員の気づきや意見等を研修で共有し、検討している。24時間対応の「心のケア」（身体・生活の悩みを含む）と外部契約を行い、法人の部長や看護師等へも話せる環境をつくる等、職員の相談窓口を整え虐待防止に努めている。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護についての資料をもとに職員研修を行っています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居の際、契約事項と重要事項についてしっかり説明を行っています。不安や疑問点は、しっかり聞き取りを行い、丁寧に説明することで、安心して理解・同意を得られるように対応しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	(7)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	定期的に応報誌を作成し、ホームでの活動の様子を写真や文章でお知らせしています。ご意見やご要望に対しては随時受け付けておりますが、サービス計画書更新の際に定期的に聞き取りを行っています。	運営推進会議開催のお知らせを家族全員へ配布し、意見や要望を聴く機会にしている。家族の意向や提案を踏まえて、医師を招き「看取りの勉強会」を実施した。家族が意見や要望を話しやすいように努めており、感染症に関することなど話を聞いている。今後も家族との交流が活発になるよう、参加しやすい行事など企画検討している。	
11	(8)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	管理者は、随時職員と面談する機会を設けています。毎月のユニット会議では、業務内容や支援内容についてスタッフ間で意見交換を行い、向上に努めています。	年3回、職員面談を行っている。職員からの意見や提案はユニット会議で検討し共有している。シフト調整、物入れの整備や家具の配置等、可能な限りすぐに対応するよう努めている。キャリアアップを奨励し、受講・受験費用を負担するなど、働きやすい職場環境作りに取り組んでいる。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員1人ひとりの個性や生活を大切に、常に働きやすい環境づくりを目指しています。給与体系、スキルアップ、評価基準は、職員はマミーホームホームページ内にていつでも閲覧できます。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	スキルアップとして、毎月勉強会や研修を行っています。研修の情報は随時提供しており、外部研修への費用負担は積極的に支援しています。		
14	(9)	○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	グループホーム協議会の研修や、包括支援地区の集会を通して、同業者と交流する機会があります。また、同法人のデイサービス職員と交流する機会を設け、親睦を深めながら情報交換を行っています。	宮城県認知症グループホーム協議会に加入している。管理者は情報交流をとおり、運営における課題など改善に活かせるように努めている。市内の他法人のグループホームと、地域づくりや外国人労働者に関する意見交換、各事業所のアピール活動を行う等、連携し交流を深めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	新規入居される際、これまでの生活の様子と今後の要望を聞き取り、環境が変わってもなるべく自分らしい生活を送って頂けるように、ご本人の意思を尊重しながら寄り添い、一緒に考えて決定しています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居される際に、不安や心配な事はあらかじめ聞き取りを行っており、安心して利用できるように対応しています。支援内容の変更や生活状況に変化が見られた際は、その都度ご家族様へ報告し、定期的に情報を共有できるように努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご入居者様が必要とされるサービスを随時検討・提案し、ご本人とご家族と一緒に検討しています。デイサービス、訪問マッサージ、訪問診療等利用しています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員は、ご入居者様と家族のような信頼関係の構築に努めています。毎日一緒に生活することによって、その方らしい生活に寄り添いながら対応しています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様からの連絡や面会の際、一緒に話し合う機会を設け、ご本人の思いや気持ちを共に伝え、ご家族様とのつながりを大切にしています。		
20	(10)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みのある関係を継続していけるように支援しています。自宅への外出や外泊、近隣周辺のドライブ、買い物支援等、ご本人の希望に添えるようご家族と協力しながら対応しています。	家族との外出や外泊ができるよう支援している。入居前に利用していた馴染みのスーパーに買い物に行く、庭の手入れや家事の手伝いなど、これまでの生活経験を日常に活かせるよう対応している。入居前に利用していたデイサービスの知人やボランティア団体との関係も継続できるように努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ホームでの日常生活を送る中で、お互いができることを活かし家事や掃除を一緒に行うことや、レクリエーションでいるんな方と交流し関わり合うことで、お互いが支え合える関係づくりに努めています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	医療的な処置が必要となり退居となった方のご家族様とは必要時連絡を取り合い、相談を受けたり、お話を伺う等の支援をしています。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(11)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の生活の中でご利用者の要望を把握し、職員同士で情報を共有して対応しています。ご入居者様とご家族様に定期的に面談や聞き取りを行い、ケアプランを作成しています。	食べたい物、ドライブに行きたい所などを選択できるように提案し、入居者の意向を聴き応えている。言語表現が困難な場合には、生活歴や以前から生活習慣から思いを想定し、表情や行動から入居者の思いをくみ取っている。歩行が不安定でリスクのある入居者については、職員間で対応策を検討し情報共有しながら、家族に説明を行い、その人らしさを損なわないよう対応している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご入居者様とご家族様へ生活状況の聞き取りを行った内容をフェイスシートに反映させています。担当ケアマネジャーより入居前の情報をアセスメントすることで、生活歴の把握に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ご入居者様の生活の様子や変化を観察したものを介護記録に残しています。職員が記録を見ることで情報共有し、ご入居者様の様子を把握できるように努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	(12)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	月1回のユニット会議で、ご入居者様の生活の状況やサービス内容の実施状況を話し合い、定期的に検討しています。ご本人やご家族の意向を踏まえてケアプランを作成しています。	月1回は家族と連絡して意向を確認している。介護記録・受診ノート記録や入居者・家族の意向をもとに、ユニット会議で話し合っている。生活リハビリや歯科訪問など、医師や看護師等の専門職の意見も取り入れた介護計画の作成に努めている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ご入居者様の日々の様子を毎日記録しており、引継ぎの際には申し送りを行い、情報を共有しています。毎月のユニット会議では、検討内容があれば話し合いを行い、必要時対応の見直しを図っています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人やご家族様が、従来の対応が困難な場合は、状況に応じて職員が対応しています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	市役所や町内の広報誌より情報を把握しています。ご入居者様が安全で豊かな暮らしを楽しめるように支援しています。		
30	(13)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご入居者様の健康状態を観察し、受診時にご家族様と主治医と情報を共有しています。かかりつけ医を変更することなく通院することができますが、希望があれば往診クリニックへ変更し24時間体制で医療を受けられることもできます。	協力医の訪問診療や往診医の訪問があり、皮膚科や歯科もホームで受診できる等、医療体制が整っている。入居前からのかかりつけ医への受診は、家族の付き添いを基本としているが、緊急時や家族が遠方にいる場合は、職員が同行している。非常勤の看護職員がおり、日頃の健康状態を把握して、通院時には医療機関と情報共有している。家族と相談し、医師の指示のもとに個別に契約し24時間医療連携体制を受けられることができる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週1回、看護師がご入居者様の健康観察を行い、ケアを行っています。体調に変化があった場合は、看護師と連絡を取りサポートしています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入退院時には、医療関係者と連絡を取り合い、適切な情報を共有し合うことで、関係づくりに努めています。		
33	(14)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	終末期や病状管理が必要になった場合、しっかりと説明を行い、話し合いを重ねることで、今後の対応方針を共有しています。医療関係者と連携を図りながら、最期まで支援させていただきます。	看取りの指針があり、入居時に説明を行っている。入居者が重度化した場合、状態を医師が判断し家族へ説明を行い、入居者・家族の意向を確認している。看取り時は、家族と医療機関との契約により24時間医療体制を整えて支援している。看取りの研修を毎年実施し、マニュアルも確認している。看取り経験のある職員がおり、職員間で情報共有し連携している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時や事故発生時の対応は、定期的に研修を行い、適切な対応ができるよう取り組んでいます。		
35	(15)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回災害時訓練を実施しています。マニュアルに従い訓練することで、安全対策を身に付けています。当施設は避難場所にも指定されています。	毎年、感染症マニュアルに沿って消毒・処理等を確認しており、対応策を研修している。火災・地震・風水害等のマニュアルを整備し、年2回、避難訓練や設備点検を実施している。夜間想定避難訓練は実施していないが、管理者は、夜勤専門担当者とマニュアルや手順等を一緒に確認している。市の防災訓練には、職員や入居者も参加しており、ホームは地域の福祉避難所になっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(16)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員は、ご入居者様1人ひとりの人格や意思を尊重し、プライバシーに配慮した対応・介助を心がけています。	毎年、『プライバシーが守られる権利』『話を聞く権利』『財産を守る権利』『平等に接することの大切さ』等の研修を行い、入居者の意思を尊重したケアを意識して取り組んでいる。入浴や着替え、排泄ケアについて、同性介助の希望を確認している。居室に入る際はノックして確認し、プライバシーに配慮した対応を行っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご入居者様に定期的にアンケートをとったり、行事や外出の希望を聞いてご本人に選んでもらったりと、希望に添った生活となるよう支援しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご入居者様の生活に合わせた起床時間や食事時間等、出来る限り希望に添えるように支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	2ヶ月毎に訪問理美容に来て頂き、カット・カラー等を利用しています。衣替えの時期など、衣類の確認も行っています。		
40	(17)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	ご入居者様に食べたいものを聞き取り、時折ランチ外食やおやつ外食を行っています。調理が得意な方にはおやつ作りを手伝ってもらったり、食器洗いを手伝ってもらったりと協力しながら行っています。	専門業者による献立で調理済みの食事が届いている。行事食は、通常の献立に追加注文しホームで準備している。クリスマスにはバイキング方式による食事を取り入れた。入居者の要望を聞いて、外食やおやつを食べに行くなどの機会も随時企画している。また、料理好きの入居者と一緒におやつを手作りするなど、一緒に楽しめる工夫もしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	ご入居者様の希望や病状に合わせた食事を提供しています。摂取量は毎食記録しており、変化が見られた際は早期に対応できるように管理しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	ご入居者様の状態に合わせた口腔ケアを行っています。準備や介助が必要な方には、声掛けや見守り等できるところまで行って頂き、口腔内を清潔に保てるように支援しています。		
43	(18)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を活用し、ご本人の排泄パターンを把握し、その方に適した排泄対応ができるように支援しています。トイレでの排泄を継続するために、定期的な排泄対応の見直しを行っています。	排泄パターンを把握し、トイレでの排泄ができるよう自立に向けて支援している。リハビリパンツやパットのサイズを変更するなど、入居者の状態に合わせて支援している。便秘対策には軽体操や食事（ヨーグルト・納豆・ゼリー・水分等）を摂取することで、自然排便を促すよう取り組んでいる。排泄リズムを整え、夜間睡眠の妨げにならないよう配慮した排泄支援に努めている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘予防のため、ご入居者様には水分摂取の促し、ヨーグルトの提供、毎日の運動を行っています。排便管理が必要な方には、個別に排便日数の確認、下剤の調整、頓服薬の調整を行っています。		
45	(19)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴は、ご本人の希望に添った入浴ができるよう支援しています。必要に応じて時間や曜日を変更したり、デイサービスの温泉外出を楽しまれたりと工夫して対応しています。	週2回の入浴を基本とし、入居者から希望を聞き、同性介助にも対応している。入浴日は、入居者の状態や希望により変更することもある。機械浴も設けられ、ジャグジーも楽しむことができる。入居者の好きな湯温で、心地よく安全に入浴できるよう対応している。定期的に、同法人のデイサービスにある温泉に出かけ楽しんでいる。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ご入居者様が安心して入眠できるよう、暗さや室温調整等の環境を整えながら就寝介助を行っています。日中、長時間離床が難しい方にはこまめに臥床する時間を設けて、生活習慣に合わせた支援をしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬介助は必ず1人ずつ行い、処方通りに与薬しています。処方に変更になった場合や病状に変化があった場合は、専属の薬剤師とご入居者様のお薬情報について共有し、必要時相談や助言を頂きながら連携を図っています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ご入居者様が、これまでの生活の中で趣味・嗜好を楽しまれてきたように、ホーム内でも出来る限り楽しみを続けられるように支援しています。畑づくりや家事・掃除等、得意なことを活かせる機会を設けています。		
49	(20)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気の良い日は、毎週ドライブや散歩を実施しています。その他、外食や遠足等のお出かけは定期的実施しており、皆様楽しみにされています。買い物や外泊等は、ご家族様に協力して頂きながら、ご希望に添えるように実施しています。敷地内には花壇と畑があり、ご入居者様と一緒に育てています。	入居者の意向を聴き、行事として毎月、外出計画をたてている。入居者の状態を確認し、天候をみながらドライブや外食などに出かけている。日常的には近所や庭を散策したり、食べたいおやつを買いに出かけている。今後は、バスを貸し切って家族と一緒に遠足など企画検討中である。入居者が好きな場所やタイミングで参加できるよう支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	預かり金の管理は職員が行っていますが、ご本人より希望があればいつでも使うことができます。ドライブや外出の際、アイスやジュースをご自分で購入したり、日用品を買い出しに行ったりと、ご自身で好きなものを買う楽しみを持てるように支援しています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご入居者様より希望があった場合には、職員が仲介をしていつでもご家族様に連絡をとることができます。携帯電話を持っている方は、ご自分でご家族様と連絡を取り合っているようです。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	(21)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有スペースは、毎日職員とご入居者様が一緒に清掃・消毒を行っており、清潔を保って快適に過ごせるように環境づくりを行っています。	大きな梁のある天井や木を使用した腰壁、タイルカーペットの床のフロアで、斜め天井の造りは音響が良い。また、斜め天井の一部は窓になっており、日差しが入り明るい。各ユニットの中央部にリビングがあり、仕切りを外すと広いフロアになる仕組みで、毎月、音楽会を開催して楽しんでいる。ソファやテレビ等、入居者が過ごしやすいように職員が話し合って配置をしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有スペースは、ご入居者様が居心地良く過ごせるように配置を工夫しています。静かに過ごしたい方のテーブル席や、ソファでくつろぎながらテレビを見たい方など、皆様が自由に過ごせる環境づくりを行っています。		
54	(22)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご自分の居室で安心してくつろげるように、ご本人とご家族と相談しながら、必要な家具や配置等を決めていきます。入居される前に使用していた家具や日用品、お気に入りの人形等、持参される方もいらっしゃいます。	各居室には、ベッドとエアコンが設置され、床はタイルカーペットが敷かれている。衣類ダンス、椅子、テーブル等は自由に持ち込め、入居者は馴染みの物を使っている。壁には、写真や飾りなどがあり、入居者の希望を聴き、動線に配慮して家具などを配置している。寝具類は、クリーニング業者に依頼して週1回交換している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ご入居者様が、出来る限り自分らしく自立した生活を送ることができるよう、建物内の安全対策、案内の貼り紙、移動時動線の確保等、工夫した対応を行っています。		